

ニッペ 1液ファインウレタンU100 木部下塗



色相イメージ



色相イメージは印刷のため実際の色とは異なります。
塗板見本などにてご確認ください。



特長

肉持ちがよく廻縁・巾木などのラワン材や、木毛板などの目止め用に効果を発揮します。
速乾性で、研磨可能までの時間が短く、工程を短縮できます。
建築基準法に基づくホルムアルデヒド放散等級 F

1液ファインウレタンU100木部下塗の上に強溶剤系塗料は使用しないでください。
1液ファインウレタンU100木部下塗は、エポキシ樹脂塗料であるため1液ファインウレタンU100とは混合して使用しないでください。

荷姿

容量	色相
1.5 kg	白、チョコ淡
3 kg	

1液ファインウレタンU100専用弾性添加剤

ニッペ 1液ファインウレタンU100 弾性添加剤

本品は現場で1液ファインウレタンU100に添加しますと弾性となる弾性添加剤です。

特長

混ぜた翌日も、そのまま使えます。
低汚染などの性能はそのまま!!
とにかく経済的!!
幅広い適応性、すぐれた性能。

荷姿

容量(使用する添加剤)	1.5kg(1.8L)の場合	3kg(3.6L)の場合
容量(使用する添加剤)	0.75kg	0.15kg
混合比	塗料:添加剤 = 20:1	



油性系塗料専用・現場用着色剤

カラーマックスFA

よく混ざる きれいに混ざる



カラーマックスFAは高耐候性を兼ね備えた画期的な油性系塗料専用・現場用着色剤です。
1液ファインウレタンU100以外に、その他、油性系塗料への添加が可能な商品もございます。
添加量の上限は3%となっております。

ターペン可溶 1液反応硬化形ウレタン樹脂塗料用

ニッペ 1液ファインウレタンU100 フラットベース



本品は1液ファインウレタンU100に適用できるつや消し剤です。
また、1液ファインウレタンU100以外にも弊社製品で適用できる商品もございます。

荷姿 0.8kg

ご使用の前に、必ずよく振ってください。

つや調整表

塗料タイプ	色相	お手持ちのつやの状態	7分つやにする場合	5分つやにする場合	3分つやにする場合
1液ファインウレタンU100 (NAD 1液タイプ)	白および淡彩	つや有り	2%	5%	-
		7分つや	-	2%	4%
	中彩および濃彩	つや有り	5%	1.0%	-
		7分つや	-	4%	6%
ファインウレタンU100 (NAD 2液タイプ)	白および淡彩	つや有り	5%	1.0%	-
		7分つや	-	4%	6%
	中彩および濃彩	つや有り	6%	1.2%	-
		7分つや	-	6%	1.2%

上記商品には「つや消し」の設定はございません。耐候性を確保するためそれぞれありますのでつや消しにはしないでください。
本品は混入しすぎますと塗膜脆化により性能を損ないますのでつや調整範囲は限られた範囲になります。
また、中・濃彩は淡彩に比べ樹脂含有量が多いため、添加量に差がございます。

本カタログの内容については、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
本カタログ中の商品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
© Copyright 2006 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.

詳しくは、各製品のカタログをご覧ください。

日本ペイント株式会社

お客さまセンター

☎ 03-3740-1120

☎ 06-6455-9113

http://www.nipponpaint.co.jp/

ISO 14001全事業所で認証取得。

このカタログは、再生紙を使用しています。

詳しい情報はホームページで

日本ペイント 建物 検索

http://www.nipponpaint.co.jp/b21/bu/ld/bg.htm



カタログNo.

NP-L037

MA071010T

2007年 4月現在

ニッペ 1液ファインウレタンU100

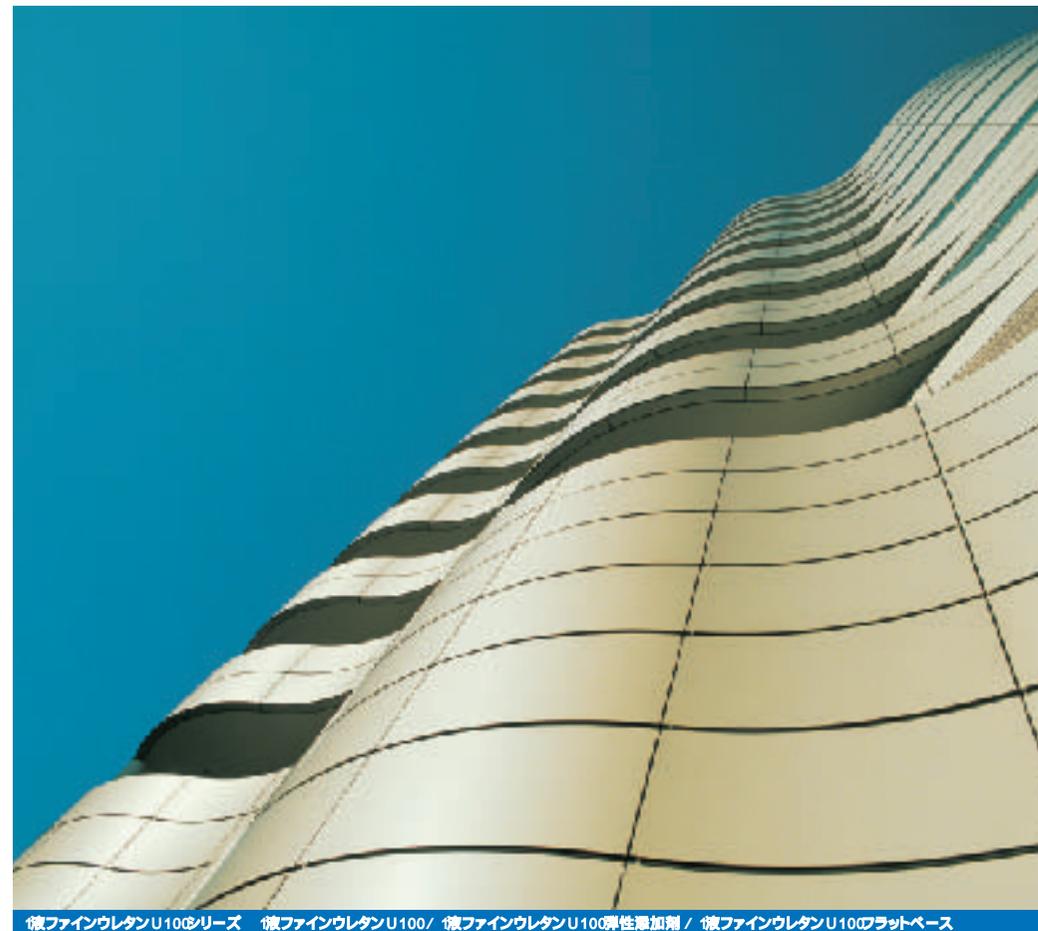
1液ウレタン樹脂塗料のベストセラー



(社)日本塗料工業会登録

ホルムアルデヒド
放散等級

F
(使用面積制限なし)



1液ファインウレタンU100シリーズ 1液ファインウレタンU100/ 1液ファインウレタンU100弾性添加剤 / 1液ファインウレタンU100フラットベース



塗り替え・新設のあらゆるシーンで 皆様のニーズにお応えします。



環境にやさしい

鉛などの重金属を配合していません。
(もちろん、ホルムアルデヒド・クロロピリホスも配合していません。)

F
(使用面積制限なし)



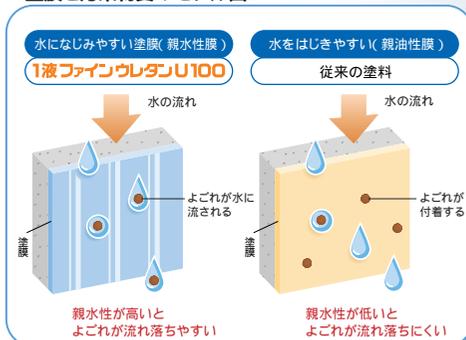
低汚染性 ~ 雨垂れ汚染試験による汚染性能試験 ~

雨垂れ汚染試験による汚染性能試験

屋外にて塗板を暴露し、雨筋状のよごれのつく程度を目視により測定します。
試験開始の月後では、非低汚染形塗料と比べて雨筋状のよごれが少ないことがわかります。

雨垂れによる汚染などを防止するためには、塗膜表面が水になじむような性質であれば雨垂れによる汚染などの防止効果があります。カーボンなどの汚染物質には油の性質があり、塗膜表面も水をはじくような油の性質(親油性)を持っていると、汚染物質が表面に付着しやすくなります。しかし塗膜表面に水になじむような性質(親水性)があると、油の性質の汚染物質は付着しにくく、降雨時の雨水によって汚染物質を流すことができます。

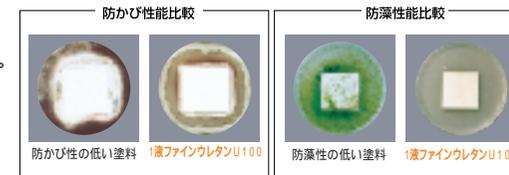
塗膜と汚染物質のモデル図



独自のセラミック親水化技術で、すぐれた低汚染性を発揮します。

防藻・防かび

藻やかびを抑えます。
最先端のバイオ技術で、藻、かびの繁殖を抑制します。



高耐候性 ~ 劣化促進機による試験 ~

1液ファインウレタンU100は架橋による三次元網目構造技術により、すぐれた耐久性を発揮します。

透湿性

透湿性が高いため建物内の結露の発生を抑制します。

ターペン可溶

塗料用シンナーで希釈するタイプですので、改修時に下地を気にせず安心してご使用いただけます。また、臭気がマイルドで作業環境にもやさしい塗料です。

1液架橋ウレタン樹脂

2液の信頼性を1液常温反応硬化NAD技術で実現しました。硬化剤を入れる必要がないため、硬化剤を入れ忘れ、計量の煩わしさがありません。また2液特有のポットライフ(可使用時間)がありませんので、塗料をムダにしません。

抜群の作業性・多目的用途

塗装時の発泡もなく、抜群の塗りやすさです。素速乾燥するので、冬場でもすぐれた作業性を発揮します。また、各種外壁(サイディングボード・モルタルなど)、鉄部、FRP、硬質塩ビ部などの新設、塗り替えに幅広く適用できます。

さらに シリーズ商品を添加すれば、こんなことも・・・

現場で弾性仕様に変更可能

「1液ファインウレタンU100弾性添加剤」を添加した場合

「1液ファインウレタンU100弾性添加剤」を入れるだけで「1液ファインウレタンU100」の性能を損なうことなく弾性になります。硬化剤ではありませんので、混ぜた翌日から1週間程度使用することができます。(つや有り専用)

現場でつや調整可能

「1液ファインウレタンU100フラットベース」を添加した場合

「1液ファインウレタンU100フラットベース」を添加することで、つや調整ができます。

ご使用前に、必ずよく振ってください。

商品体系

工程	商品名	系統	容量	色相	つや	塗り面積 店当たり/1工程	ポットライフ (23℃)
下塗り材	アンダーフィラー弾性エクセル	可とう形改修塗材 E	16 kg	ホワイト	-	12~20m ²	-
	ファイン浸透シーラー	溶剤エポキシ2液形	15kgセット 12.5kg 2.5kg	透明	-	75~93m ²	6時間
	ニッペ水性カチオンシーラー	水性カチオン形特殊高分子下塗り材	15 kg	淡黄色(半濁)	-	93~150m ²	-
	1液ファインシーラー	ターベン可溶1液反応硬化形特殊アクリル樹脂下塗り材	14 kg	淡褐色	-	73~93m ²	-
	1液ハイボンファインデクロ	ターベン可溶1液速乾変性エポキシ系さび止め塗料	16 kg	グレー・クリーム赤さび・ホワイト	-	106~123m ²	-
	1液ファインウレタンU100木部下塗り	ターベン可溶速乾木部下塗り塗料	3kg・15 kg	白、チョコ淡	-	75~125m ²	-
主材	タイルラックEMA-Sベース100K	水性アクリル樹脂系複層塗材 E	20 kg	白	-	10~14m ²	-
	DANタイル中塗り	水性アクリルゴム系防水形複層塗材 E	20 kg	白	-	11~25m ²	-
上塗り材	1液ファインウレタンU100	ターベン可溶1液反応硬化形ウレタン樹脂塗料	15 kg 3 kg	各色	つや有り	93~125m ²	-
					7分つや有り		
					5分つや有り		
添加剤	1液ファインウレタンU100弾性添加剤	1液ファインウレタンU100専用弾性添加剤	0.15kg・0.75kg	-	-	-	-
	1液ファインウレタンU100フラットベース	ターベン可溶1液反応硬化形ウレタン樹脂塗料用つや消し剤	0.8 kg	-	-	-	-
	カラマックスFA	油性系塗料専用・現場用調色剤	400ml	各色	-	-	-
適用下地	コンクリート面(現場打ち) モルタル仕上げ面 塗り替え改修用(アクリルリシン、吹付けタイル、その他旧塗膜) ALC(パネル) 鉄部						

上記に記載されている 店当たりの塗り面積は、1工程当たりの塗り面積です。また、あくまでも目安であり、素地の形状により増減しますので、あらかじめご了承ください。
 2液形塗料は、塗料液に硬化剤を加えてかきはんし、ポットライフ時間内に使用してください。
 下塗り材に「ニッペ水性カチオンシーラー」をご使用される場合、必ず主材をご使用ください。
 押出成形セメント板やGRC板に1液ファインシーラーをご使用になられる場合、弾性仕様での塗装はできません。
 注]右ページに記載の「標準塗装仕様」の各数値は、すべて標準の数値です。被塗物の形状、種類、素地の状態、気象条件、施工条件などにより増減しますので、あらかじめ試し塗りを確認してください。
 旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。

使用上の大切なお知らせ

「ニッペ 1液ファインウレタンU100」は一般的な内・外装を対象とした化粧用塗料です。耐磨耗性・耐油性・耐溶剤性等が求められる下図の部位には使用できません。
 (理由: 塗膜が軟化、磨耗により色うつりする場合があります。)



カウンター・床面



本棚・戸棚類



遊具・ベンチ類



プラント・設備類
(耐油・耐溶剤性が必要な場合)

上記のような塗装部位については弊社にご相談ください。

標準塗装仕様 塗り替え

工程	塗料名	塗り回数	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率%	塗装方法
各種外壁 吹付けタイル・サイディングボードなどのトップコートの塗り替え							
下地改修工事	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果に基づいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	活膜を残し、膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含めて入念に除去する。ごみ、砂じん、油脂などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
上塗り1	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	3時間以上	塗料用シンナーA	3~8	ウールローラー エアレスプレー
上塗り2	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	-	塗料用シンナーA	8~13 3~8	ウールローラー エアレスプレー

サイディングボードなどの塗り替えで、下地・旧塗膜の劣化が著しい場合には、付着不良などの不具合を生じる場合がありますので、下塗り「ニッペファイン浸透シーラー」を塗装してください。

コンクリート・モルタル面 微弾性フィラーを用いた塗り替え

工程	塗料名	塗り回数	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率%	塗装方法
下地改修工事 下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果に基づいて、塗装工事前に実施する。							
下地調整	活膜を残し、膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含めて入念に除去する。ごみ、砂じん、油脂などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	アンダーフィラー弾性エクセル	1	0.80~1.30	4時間以上	水道水	1~3 2~5	砂骨ローラー 吹付け
上塗り1	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	3時間以上	塗料用シンナーA	3~8	ウールローラー エアレスプレー
上塗り2	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	-	塗料用シンナーA	8~13 3~8	ウールローラー エアレスプレー

一般鉄部

工程	塗料名	塗り回数	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率%	塗装方法
下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含めて入念に除去する。さびは電動工具や、サンドペーパー・研磨布などを用いて除去し、清掃する。						
下塗り	1液ハイボンファインデクロ	1	0.13~0.15	4時間以上7日以内	塗料用シンナーA	5~10	はけ・ウールローラー
上塗り1	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	3時間以上	塗料用シンナーA	3~8	はけ・ウールローラー エアレスプレー
上塗り2	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	-	塗料用シンナーA	8~13 3~8	はけ・ウールローラー エアレスプレー

一般鉄部には上記のさび止め塗料以外に、ハイボン20デフロ、ハイボンファインプライマー、速乾シアナクリル系下塗り、速乾P20Lコンゴエなども使用できます。さびが発生しやすいエッジ部もさびはきが発生している箇所を塗装する場合、入念なケレン後、下塗り塗料「さび止め塗料」で部材を補修塗りしてから下塗りしてください。

木部(破風など)

工程	塗料名	塗り回数	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率%	塗装方法
素地調整	よごれ、付着物などサンドペーパーで除去する。やにはあらかじめラックスなどで処理しておく。						
下塗り	1液ファインウレタンU100木部下塗り	1	0.12~0.20	4時間以上7日以内	塗料用シンナーA	5~10	はけ・ウールローラー
上塗り1	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	3時間以上	塗料用シンナーA	3~8	はけ・ウールローラー
上塗り2	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	-	塗料用シンナーA	8~13	はけ・ウールローラー

標準塗装仕様 新設

コンクリート面 吹付けタイル仕上げ

工程	塗料名	塗り回数	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率%	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ファイン浸透シーラー	1	0.16~0.20	3時間以上7日以内	無希釈	-	ウールローラー エアレスプレー
主材	タイルラックEMA-Sベース100K	1	1.40~2.00	16時間以上	水道水	1~3	吹付け
上塗り1	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	3時間以上	塗料用シンナーA	3~8	ウールローラー エアレスプレー
上塗り2	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	-	塗料用シンナーA	8~13 3~8	ウールローラー エアレスプレー

DANタイルの上塗りとして使用できます。

工程	塗料名	塗り回数	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率%	塗装方法	
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。							
下塗り	ニッペ水性カチオンシーラー	1	0.10~0.16	4時間以上	無希釈	-	ウールローラー はけ	
中塗り	ベース吹き	DANタイル中塗り	1	1.40~1.80	4時間以上	水道水	5~8	吹付け
	模様吹き	DANタイル中塗り	1	0.80~1.20	16時間以上	水道水	1~3	吹付け
ヘッド押さえ	必要に応じてヘッド押さえを実施する。(押し入れローラーに塗料用シンナーAをつけ、模様吹き工程直後から30分の間に凸部を押さえる。)							
上塗り	上塗り(1回目)	1液ファインウレタンU100 + 弾性添加剤	1	0.12~0.16	3時間以上	塗料用シンナーA	3~8	ウールローラー エアレスプレー
	上塗り(2回目)	1液ファインウレタンU100 + 弾性添加剤	1	0.12~0.16	-	塗料用シンナーA	8~13 3~8	ウールローラー エアレスプレー

コンクリート面 平滑仕上げ ニッペ 破風ファインウレタンU100弾性仕様は、ニッペ 破風ファインウレタンU100弾性添加剤を必ず添加、混合して塗装してください。(塗料:添加剤=20:1)

工程	塗料名	塗り回数	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率%	塗装方法	
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。							
下塗り	ニッペ 1液ファインシーラー	1	0.15~0.19	3時間以上	無希釈	-	ウールローラー エアレスプレー	
上塗り	上塗り(1回目)	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	3時間以上	塗料用シンナーA	3~8	ウールローラー エアレスプレー
	上塗り(2回目)	1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	-	塗料用シンナーA	8~13 3~8	ウールローラー エアレスプレー

注 詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください。

施工上の要点

- 素地の乾燥は十分に行ってください。(含水率10%以下、pH9以下)
- 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上り不良となりますので注意してください。
- シンナーで希釈しすぎると作業性能(ダレ性)などが低下しますのでご注意ください。
- 濃彩色の調色には必ず専用原色をお使いください。
- 塗装機などの塗装器具は、あらかじめ洗浄し、他の塗料の混入がないようお願いいたします。他の塗料と混ざりますと、つやびけや性能低下の原因になる場合がありますのでご注意ください。
- はけ、ローラー、塗装機などの洗浄にはラッカーシンナーをご使用ください。
- 防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。既に繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理してから塗装してください。
- はけ塗り仕上げとローラー仕上げと混在する場合、塗付量、表面肌が異なり、色相差ができますので、はけ塗り部分は希釈を少なくして塗装してください。
- よごれ、きずなどにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ず取っておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面などの外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペセメントフィルター、ニッペフィルター200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。)
- 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてファイン浸透シーラー、1液浸透シーラー、1液ファインシーラーをお使いください。なお、押出成形セメント板、GRC板の場合、1液ファインシーラーの上に弾性仕様(DANタイプ中塗)をご使用になれません。
- 塩ビ/珪藻土の上に塗装する際は下塗りにニッペ塩ビ/珪藻土用プライマーをご使用ください。

注意事項

- 塗装場所の気温が5℃以下、湿度が85%以上または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗膜の乾燥過程で種々の欠陥を生じることがありますので塗装を避けてください。
- 外部の塗装が降雨、降雪のおそれのある場合および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時、塗料の取扱いには換気が十分に行い、火気厳禁にしてください。溶剤系塗料のため、室内での塗装時および塗装後も、必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても開口部などの養生を行ない、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願いいたします。
- 飛散防止のため養生を行ってください。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので、行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化したのちに行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。またニッペリードオフプライマーを下塗りすることで、汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはがれ、収縮割れが起こることがあります。
- 上塗りにさえたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相は隠ぺい性が弱いため、隠ぺい性のよい共色を下塗塗装してから上塗りをしてください。
- 建物の構造によっては低汚染性が発揮されにくい場合がございます。特に次の条件下で塗装される場合はご注意ください。
 - 1) 笠木などの水切りのない壁面
 - 2) 汚れ成分がたまりやすい突起物の下の壁面
 - 3) その他汚れが局部的に溜まりやすい部位の下部
- 過剰希釈すると本来のつやが発揮しない場合がありますので、標準希釈量をまもってください。
- 異なる色相で塗り重ねる場合(例:1回目の上塗りを塗装してから、別な色相でラインや帯などを塗装する場合など)2回目の上塗りが1回目の上塗りを覆してラインや帯などが(ブリードにより)変色する場合がありますのでご注意ください。
- 鉄部には直接塗装しないでください。あらかじめ、さび止め塗料を塗っておく必要があります。
- ニス(バーナー)の逆タッチアップはしないでください。
- カウンター、陳列棚、ベンチ、床面などが常時置かれるような場所には塗装しないでください。油膜(人の手油などを含む)やアルコールなどがつくと、塗膜が軟化して色うつりする場合があります。
- 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- 濃彩色や冴えた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性がある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような箇所に使用する場合は、ファインシリコンフレッシュクリヤーを上塗りに塗装してください。
- つや調整品(7分つや有り、5分つや有り、3分つや有り)は被塗物の形状や素地の状態、膜厚や色相などにより、実際のつやと若干違って見える場合が

- 内部塗替えにおいて、旧塗膜がOP、FEなどの油性系の場合、研磨すりを行ってください。下地処理が不十分な場合は、塗膜はく離の可能性あります。

1液ファインウレタンU100木部下塗 追加記載事項

- ・釘頭は、ニッペ 1液ハイボンファインデクロを塗装してください。釘頭が発錆している場合は、研磨紙などでさびを除去し、ニッペ 1液ハイボンファインデクロを塗装してください。
- ・新木の場合の乾燥程度は含水率15%以下としてください。下塗り塗装後、仕上り向上の目的で研磨を行う場合は、乾燥後研磨紙(#240～#320)で研磨、ウエスで拭き取り清浄な状態にしてください。

1液ファインウレタンU100弾性添加剤 追加記載事項

- ・弾性添加剤を添加いたしますと、乾燥すると弾性塗膜となりますので、養生テープはナイフカットして取り外してください。

あります。見本塗り板、またはあらかじめ試し塗りをして確認してください。

- 蓄熱されやすい素材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディングなど)や断熱構造が強い場合で、旧塗膜が弾性リジンや弾性スタッコ、複層弾性のアクリルトップなどの弾性塗料の場合、環境条件によって、水や温度の影響で塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大することがありますので、ケレンで除去するなどの入念な下地処理を行ってください。
- ドアパッキン、プラスチックなどの可塑性を含むものに1液ファインウレタンを面が直接触れると、軟化したり、付着によりはく離を起こす場合がありますので、接触が予想される箇所には塗装を避けてください。

1液ファインウレタンU100木部下塗 追加注意事項

- ・「1液ファインウレタンU100木部下塗」は、エポキシ樹脂ですので、皮膚がぶれを引き起こすおそれがあります。肌に着着しないよう特に注意してください。
- ・1液ファインウレタンU100は混合して使用しないでください。

1液ファインウレタンU100弾性添加剤 追加注意事項

- ・JIS A 6021建築防水材の上塗仕様としては使用できません。
- ・本添加剤を少量小分けして使用する場合は、塗料に対して外割5%を精秤してください(添加量は遵守してください)。添加量が不足すると期待性能が発揮されない場合があります。添加量が過剰の場合、塗料粘度が上昇して作業性に影響をおよぼす場合があります。
- ・本添加剤を混合した塗料は、経時で増粘して塗装作業性、仕上がり性に支障をきたすおそれがありますので、混合後1週間以内を目安にご使用ください。

1液ファインウレタンU100フラットベース 追加注意事項

- ・使用前に容器をよく振って、ご使用ください。
- ・2液形の塗料に使用する場合、塗料と硬化剤を混合後に、つや消し剤を添加してください。
- ・本品は塗料ではありませんので、そのまま塗装することはできません。
- ・希釈は必ず本品を混入後、実施してください。本品は、使用する際は希釈量が減る場合がございますのであらかじめご了承ください。
- ・使用後は容器のふたを完全にしめて保管してください。
- ・弾性塗料の上塗りには使用しないでください。
- ・使用する前にふた付近に付着した粉化物(つや消し剤)を取り除いてください。また使用後はふた付近に付着したつや消し剤を取り除いてください。ブツの原因になる場合がございます。
- ・つや消し剤の混入量は、最終ページのつや調整表を目安にご使用ください。下地、塗付量、塗装条件、色相によりつやの落ち方が異なりますので、実際に試し塗りをして、つやの程度を確認してから塗装してください。
- ・メーカー出荷のつや調整品とはつやの状態が異なります。
- ・フラットベースと弾性添加剤の併用はできません。

専用原色見本

原色	白：原色	原色	白：原色
ブラック	10：1	エココロオレンジ	14：1
オーカー	10：1	シャニンブルー	18：1
エココロエロー	16：1	シャニングリーン	14：1
インディアンレッド	18：1	バイオレット	14：1
ニュータフレッド	16：1		

印刷物の為、実際の色とは異なります。色合いを見るために、白と原色との混合比率を変えてあります。

危険物表示

商品名	1液ファインウレタンU100	1液ファインウレタンU100フラットベース	1液ファインウレタンU100弾性添加剤	1液ファインウレタンU100木部下塗	カラマックスFA	1液ハイボンファインデクロ	ニッペ1液ファインシーラー	ニッペファイン浸透シーラー	
	合成樹脂エマル剤	合成樹脂クリヤー塗料	合成樹脂クリヤー塗料	合成樹脂エマル剤塗料	合成樹脂エマル剤塗料	合成樹脂エマル剤塗料	合成樹脂クリヤー塗料	合成樹脂クリヤー塗料	硬化剤
危険物区分	第2石油類	第2石油類	第2石油類	第2石油類	第2石油類	第2石油類	第2石油類	第2石油類	第2石油類
危険等級	II(火気厳禁)	II(火気厳禁)	II(火気厳禁)	II(火気厳禁)	II(火気厳禁)	II(火気厳禁)	II(火気厳禁)	II(火気厳禁)	II(火気厳禁)
有機溶剤区分	第3種等	第2種等	第3種等	第2種等	第3種等	第2種等	第3種等	第3種等	第3種等

安全衛生上の注意事項

1液ファインウレタンU100、ファイン浸透シーラー、1液ハイボンファインデクロ、1液ファインウレタンU100弾性、1液ファインシーラー、塗料用シンナーA

- 引火性の液体です。
- 有機溶剤中毒のおそれがあります。
- 健康に有害な物質を含有しています。

・通常の塗料に比べ幾分毒性が強くなり、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やぶれを起こすおそれがありますから取り扱いには下記の注意事項をまもってください。

取り扱いおよび貯蔵上の注意

- 火気の無い局所排気を設けた場所で使用ください。
- 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着したときには、多量のせっけん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気・ガスなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、安静にし、必要に応じて、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだときには、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 容器からこぼれたときには、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。詳細な内容については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。
- 本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。